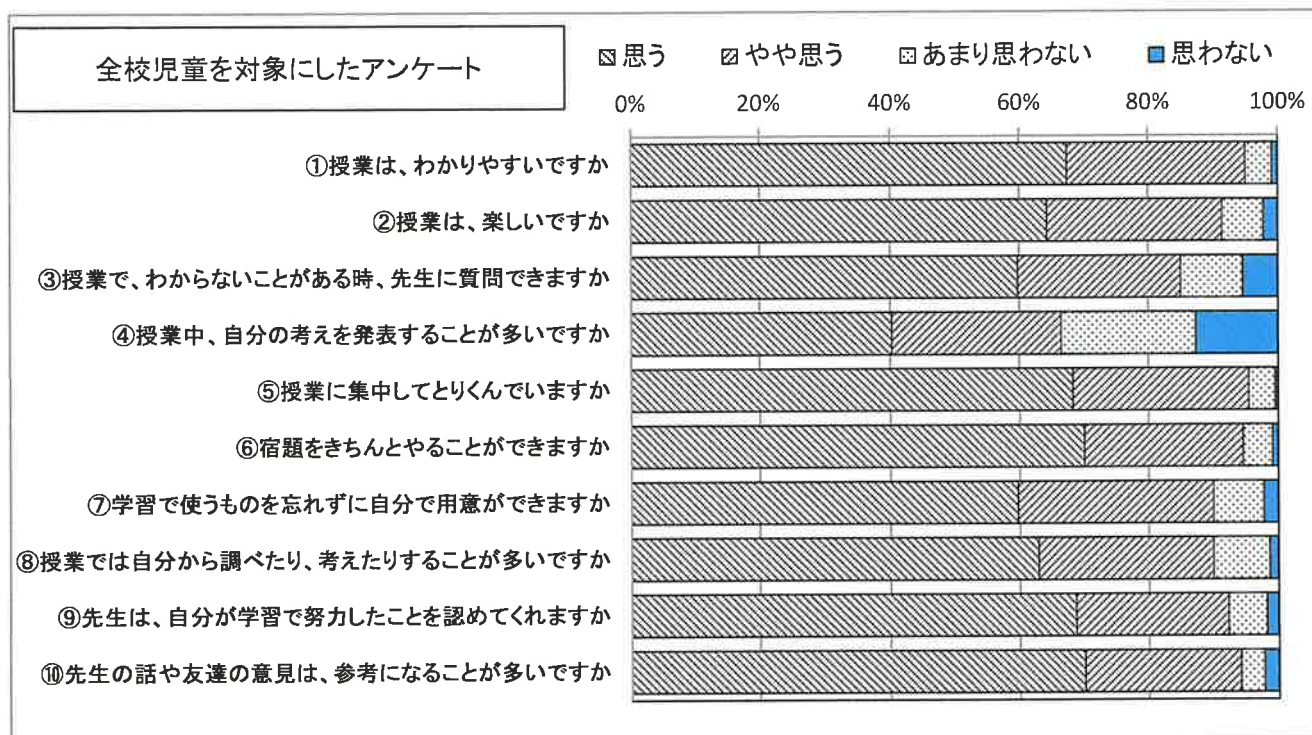


令和5年度 児童の授業評価アンケートについて

児童を対象に実施した授業評価アンケートの集計の結果は、以下のとおりです。この回答結果にもとづき、教育活動の見直しと一層の充実を図っていきます。



《①～⑩の質問に対する考察》

質問項目が令和4年度と少し変更があるため完全な比較はできませんが、全体的に肯定的な意見が多いです。このことから、児童が意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。児童1人に1台のタブレット端末が配置され、ICT機器の良さを生かした、児童が「楽しい」と思える授業となるように努めていることも、大きな要因の1つです。さらに、ティーム・ティーチング、特別支援教育支援員など複数の職員が教室にいる体制をとり、児童個々に寄り添った学習を目指した成果が反映されたと考えています。

③④の項目は、肯定的な回答率が低い結果となりました。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、グループ活動や友達との交流が緩和されてきました。全学年を通して、友達との意見交換は積極的に行うことができるのですが「全体の前で自分の考えを発表する」ということに関しては、「間違えることが怖い」や「人前で発表することが恥ずかしい」、「自分の考えを発表することの意義が見い出せない」といった考えを高学年程持っているようです。今後、交流活動の中で、児童が自分の考えを積極的に発表でき、みんなから認められるような雰囲気づくりを行っていきます。学習に対して努力したことが認められることで、児童は自信と向上心をもって学習に臨みます。児童個々の状況に応じた適切な評価や称賛を通し

《重点課題》

新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習したことを生かして課題を解決しようとする姿勢や、様々な角度から物事をとらえて考えを深めたり、視野を広げようとする態度を育てるための、授業改善を図っているところです。基礎・基本の定着を基盤とし、「わかる・できる」が実感できる授業づくり、教材や指導体制を工夫し、個に応じた支援体制を整え、成就感がもてる学習指導を進めます。

また、タブレット端末を、授業では全学年で活用しています。授業での効果的な活用や、情報モラル指導についても検討していきます。

《自由記述から》

- もっとPCを使った授業をやりたい。プログラミングの学習がしたい。
- 教職員が作成したカフト（オンラインクイズ）をやりたい。
- 家庭科の実習がしたい。（調理実習）
- 分からないことを分かりやすく説明して欲しい。
- あまり冷たく言ったり、強く言ったりしないで欲しい。
- 豆知識のようなものを話して欲しい。
- 授業中や給食中に立ち歩いたりしない授業がよい。
- 先生からのアドバイスが大好きです。（とてもありがたい言葉です。心に強く刻み、より良い授業をめざします）

